

# 研修員's VOICE

Vol. 25

世界各国からJICA沖縄にやって来た  
研修員を紹介しています。



氏名: Ms. NIA-PAIO Teiti Marita (テイさん)

国名: クック諸島

コース名: 配電網整備(A)

研修期間: 2019年5月8日 ~ 2019年6月14日



## クック諸島ってどんな国？

15の主要島で構成されるクック諸島は、赤道を挟んで  
ハワイの反対側に位置する、南太平洋に浮かぶ島嶼国  
です。人口約1万1千人(2013年)、面積237 km<sup>2</sup>(鹿児  
島県の徳之島と同等)、首都アハualuaのあるラロトンガ島  
に全人口の約8割が暮らしています。主な産業は観光で  
豊かな自然や文化が世界中の人々を魅了し、年間15万  
人を超える観光客が訪れます。多くの観光客にクック諸  
島での滞在を楽しんでもらうためにも安定した電力供給  
は重要課題です。現在は再生可能エネルギー導入への  
移行期となっており、2020年までに全島で再エネ導入  
100%が国家目標です。



クックの伝統衣装姿の子どもたち



昇柱訓練に挑戦するテイさん

## どんな研修をしていますか？

私はラロトンガ島にあるクック諸島電力公社で発  
電、配電、電力設備工事の調達等を担当しています。  
自国の電化率はほぼ100%、停電も少なく、大洋州  
22か国中、上位5番以内の電力供給信頼度を誇りに  
思っています。今回の研修では、日本/沖縄の配電設  
備や保守現場の視察を通して、実践的な配電計画や  
保守運用を学んでいます。特に、日本の設備は保守  
管理が行き届き、90年代に導入した施設でも最近の  
施設のようにきれいなことがとても印象に残りました。  
保守/運用管理の徹底やモニタリングの順守が電力  
の安定供給に繋がっているのだと実感しました。

## 女性技術者としての活躍

高校卒業後、顧客サービス部から電力公社での勤務  
を開始、その後、技術部門に転属、会社の支援でニュ  
ージーランドの大学で学びました。現在ではクック諸島  
で唯一の女性技師として勤務しています。他国でも電力分  
野の女性技師は少ない中、大洋州の女性技師会のメン  
バーとしても活動しています。男性と同様の能力がある  
にもかかわらず、まだまだ女性の能力は社会で活用さ  
れていません。女性の社会進出の促進のためにも、今  
後も技師のキャリアを積み、若い世代にも自分で道を切  
り拓くことができるということを伝えていきたいです。



研修コースの仲間たち(後列右端がテイさん)

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、「誰一人取り残さないーNo one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針で、17のゴールが設定されています。JICAはSDGsの達成に向けて積極的に取り組み、17のゴールに貢献する研修を実施しています。